

ACCA ADSL IPv6/IPv4 デュアルサービス導入設定ガイド OCN用

はじめに

本導入設定ガイドは、ブロードバンドルータFMWBR-102 と(株)アッカ・ネットワークス(以降、アッカ・ネットワークスと呼びます)のADSL IPv6/IPv4 デュアルサービスを利用して、有線LAN、および無線(ワイヤレス)LAN搭載のパソコンから、IPv6 とIPv4 で同時にブロードバンド環境のインターネット通信を行うための設定方法を説明しています。

操作の詳細については、HTML マニュアル『ワイヤレスブロードバンドルータ FMWBR-102 取扱説明書(ファームウェア V2.00.00 対応)』(以降、『取扱説明書』と呼びます)をご覧ください。取扱説明書(ファームウェア V2.00.00 対応)は、最新ファームウェアと一緒にダウンロードすることができます。

- 製品などの呼び方について

本書では製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
ブロードバンドルータFMWBR-102	本装置
Microsoft [®] Windows [®] XP Professional	Windows XP
Microsoft [®] Windows [®] XP Home Edition	
Microsoft [®] Internet Explorer 6.0、 Microsoft [®] Internet Explorer 5.5、 Microsoft [®] Internet Explorer 5.01 および Microsoft [®] Internet Explorer 5.0	Internet Explorer 5.0 以降
Netscape [®] 6.2	Netscape 6.2、または Netscape
Microsoft [®] Windows [®] XP Service Pack 1	SP1

- 商標および著作権について

Microsoft、Windows は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Netscape、NetscapeのNロゴおよび操舵輪のロゴは、米国およびその他の国におけるNetscape Communications Corporation社の登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

お使いになるまえに

- ご利用のサービス

本装置は、アッカ・ネットワークスが提供する ADSL IPv6/IPv4 デュアルサービスに対応しております。設定を始める前に、サービスがご利用できる状態になっているかご確認ください。

- サービスを利用するために必要なもの

ADSL サービスを利用するために以下のものをご用意ください。

- ・ プロバイダから ADSL IPv6/IPv4 デュアルサービス用に提供されたユーザーID とパスワード
- ・ パソコン (有線 LAN、またはワイヤレス LAN がご利用できるもの)
- ・ アッカ・ネットワークス提供の ADSL モデム
- ・ 本装置

- IPv6 対応 OS について

パソコンの OS は、Windows XP のみが対応しています。ただし Microsoft 社の正式なサポートを受けるためには、SP1 をインストールしている必要があります。

Windows XP のパソコンで IPv6 を導入するには以下の操作を行います。

- (1) 「スタート」 「すべてのプログラム」 「アクセサリ」 「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

「コマンドプロンプト」ウィンドウが表示されます。

- (2) 「コマンドプロンプト」ウィンドウで次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
ipv6 install
```

詳しくは、Windows XP のヘルプをご覧ください。

POINT

本装置に添付の『FMWBR-102 簡単設定ガイド』は、IPv4 専用ツールです。ADSL IPv6/IPv4 デュアルサービスには対応しておりません。

- 本装置のファームウェアについて

本装置を使用して、アッカ・ネットワークスの ADSL IPv6/IPv4 デュアルサービスを利用する場合、本装置のファームウェアが ADSL IPv6/IPv4 デュアルに対応している必要があります。最新のファームウェアは、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET (<http://www.fmworld.net/>) からダウンロードできます。

ADSL IPv6/IPv4 デュアル対応ファームウェアバージョン： V2.00.00

ワイヤレスブロードバンドルータ FMWBR-102 について：

<http://www.fmworld.net/product/hard/ocr/fmwbr102/index.html>

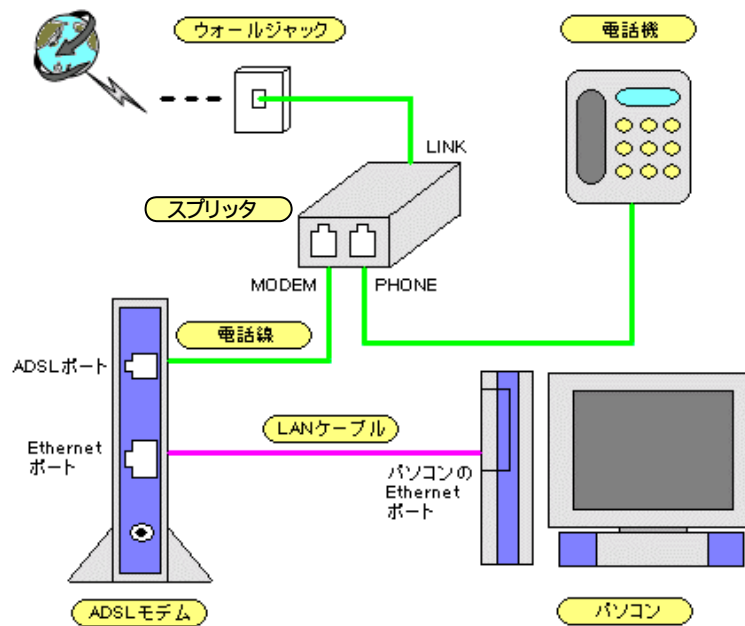
詳しくは、『取扱説明書』の第 7 章 「こんなときは」 「システムのメンテナンス」 「ファームウェアのアップデート」を参照してください。

1. パソコンとADSL モデムを使ってインターネットに接続する

ADSL モデムとパソコンを接続する

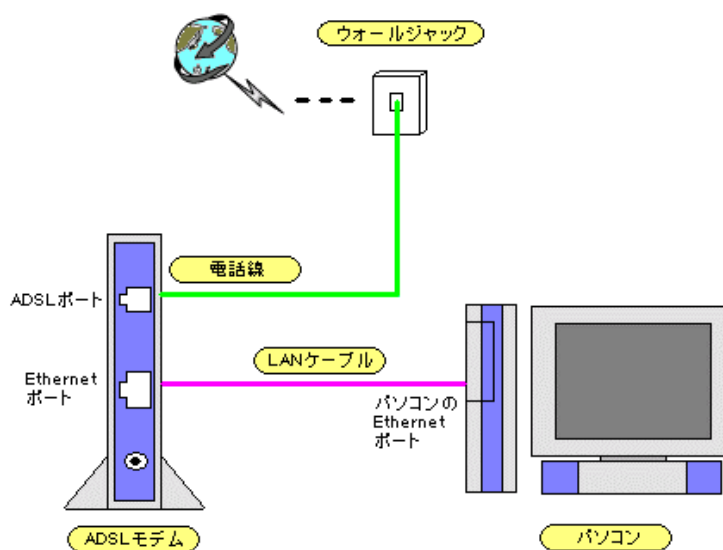
- スプリッタを使用する場合 (タイプ1の場合)

付属の電話線で ADSL モデムの「ADSL ポート」とスプリッタの「MODEM」を接続します。また、LAN ケーブルで ADSL モデムの「Ethernet ポート」とパソコンの「Ethernet ポート」を接続します。



- スプリッタを使用しない場合 (タイプ2の場合)

付属の電話線で ADSL モデムの「ADSL ポート」と「ウォールジャック」を接続します。また LAN ケーブルで ADSL モデムの「Ethernet ポート」とパソコンの「Ethernet ポート」を接続します。



パソコンのネットワーク環境を設定する

下記手順は、WindowsXP 画面の場合です。

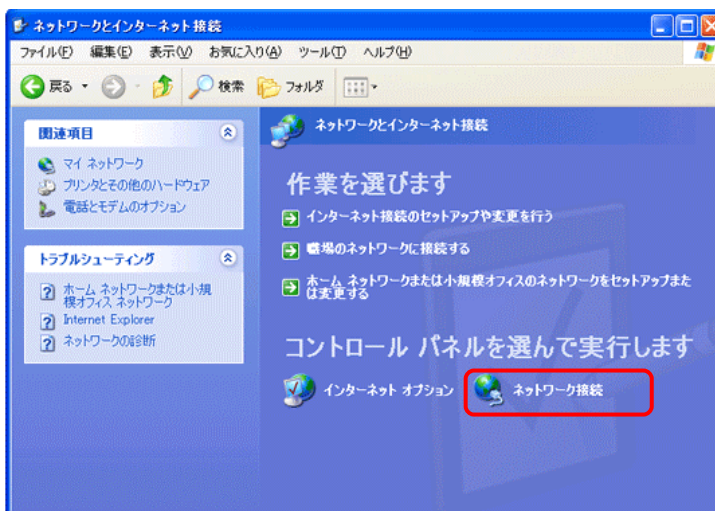
「スタートメニュー」から「コントロールパネル」をクリックします。



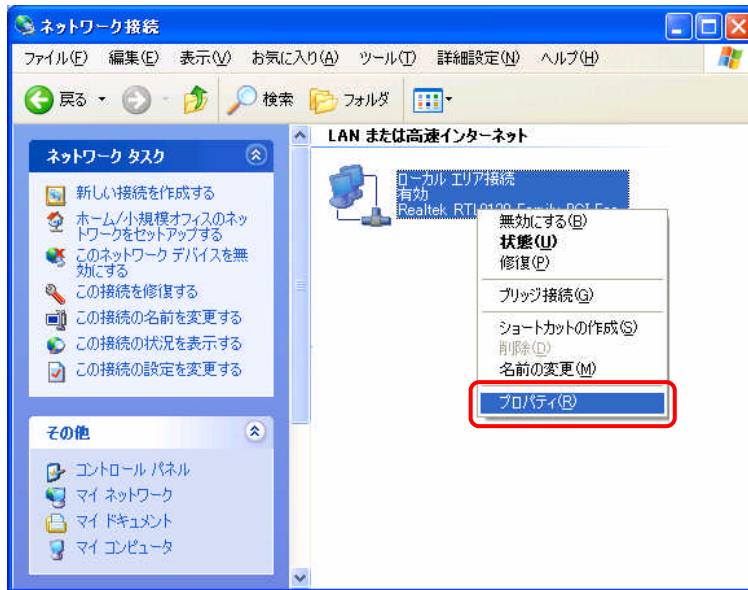
「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



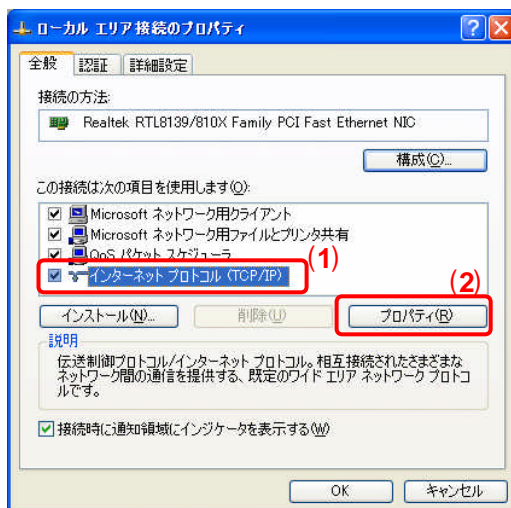
「ネットワーク接続」をクリックします。



「ローカルエリア接続」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。

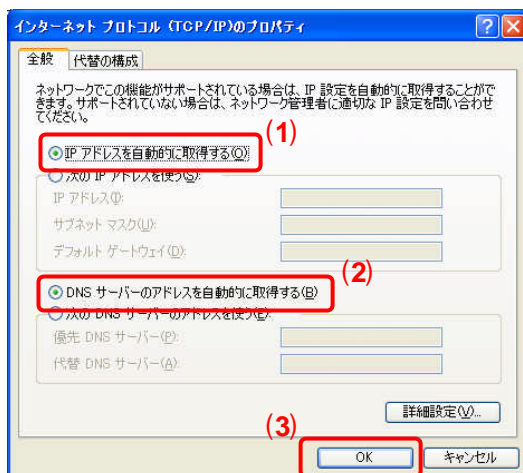


「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されたら、次のように操作します。



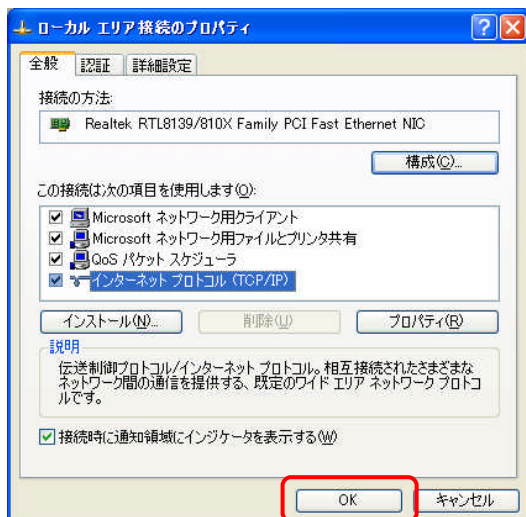
- (1) 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択します。
- (2) 「プロパティ」ボタンをクリックします。

「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」画面が表示されたら、次のように操作します。



- (1) 「IP アドレスを自動的に取得する」を選択します。
- (2) 「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択します。
- (3) 「OK」ボタンをクリックします。

OK」ボタンをクリックします。



ADSL モデムを設定する

Web ブラウザ (Internet Explorer など) を起動し、Web ブラウザのアドレス欄に「http://192.168.0.1」と入力し、[Enter] キーを押します。

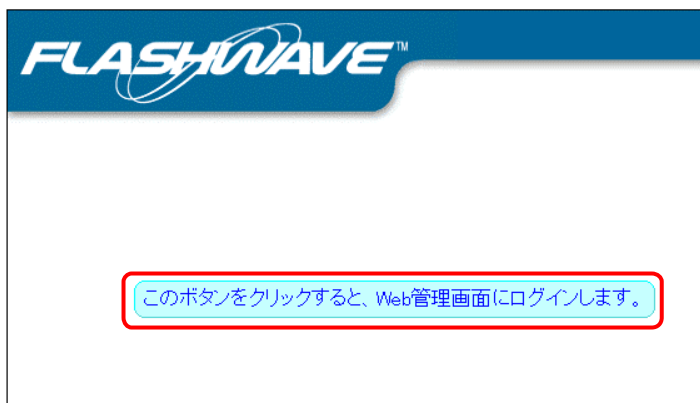


POINT

IP アドレスを変更した場合

ADSL モデムの IP アドレスを変更した場合は、変更後の IP アドレスを入力してください。

「このボタンをクリックすると、Web 管理画面にログインします。」をクリックします。



「ユーザー名」/「パスワード」とともに半角で「admin」と入力し、「OK」をクリックします。

192.168.0.1 に接続

FLASHWAVE 2040 M1

ユーザー名(U): admin

パスワード(P): *****

パスワードを記憶する(B)

OK キャンセル

POINT

ユーザー名/パスワードを変更した場合

ADSL モデムのユーザー名/パスワードを変更した場合は、変更後のユーザー名/パスワードを入力してください。

「ルータブリッジモード設定」画面が表示されたら、次のように操作します。

ルータブリッジモード設定

1) ADSLサービス選択
3 ISP3, VPI=0, VCI=35, ルータモード(PPPoE)接続

ADSLサービス設定を有効にする場合は、OKボタンを押した後に保存と再起動が必要です。又、保存と再起動を実行するまでは、このWebページの内容は変更前のADSLサービス設定を表示しています。

ルータモード(PPPoE)接続設定

PPPoEログインパラメータ

2) カプセリング方式 LLC

ログイン ユーザID

3) ログイン パスワード

パスワードの確認(再入力)

4) 認証方式設定 CHAP

自動接続 有効

無通信監視時間 0 分

PPPのセッション状態

取得 WAN側IPアドレス 0.0.0.0

対向 IPアドレス(Peer IP) 0.0.0.0

接続状態 ユーザID/パスワード未設定

5) OK

接続 切断

- (1) 「ADSL サービス選択」 「3 ISP3, VPI=0, VCI=35, ルータモード(PPPoE)接続」を選択します。
- (2) 「ログイン ユーザID」 プロバイダから指定されたユーザー名を入力します。
- (3) 「ログイン パスワード」 プロバイダから指定されたパスワードを入力します。2 箇所入力します。
- (4) 「認証方式設定」 「CHAP」を選択します。
- (5) 「OK」ボタンをクリックします。

「ただちに設定内容の保存と再起動を行う。」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

設定内容の保存と再起動を行います。

ADSLサービス選択等の設定変更を有効にする場合は、必ず保存と再起動が必要です。
又、OKボタンを押した後は故障の原因になりますので、システム再起動画面に移行するまでは、絶対にモデムの電源を切らないで下さい。

今すぐ設定内容の保存と再起動を行いますか？

ただちに設定内容の保存と再起動を行う。
 設定の変更を継続させ、設定内容の保存と再起動は後で行う。

ADSL モデムが再起動し、「再起動後のログイン画面が表示されるまでしばらくお待ちください・・・。」と表示されます。



重要

再起動後のログイン画面が表示されるまでしばらくお待ちください・・・。」と表示されている間は、ADSL モデムの設定の保存、再起動を行っていますので、絶対に ADSL モデムの電源は切らないでください。故障の原因となる場合があります。

ADSL モデムの再起動が終了すると、自動的に Web 管理画面のログイン画面に戻りますので、再度ログイン後、「ルータブリッジモードの設定」の「PPP のセッション状態」を確認します。「接続状態」が「接続処理中」から「接続中」になれば接続は完了です。

ルータブリッジ モード設定

ADSLサービス選択
3 ISP3, VPI=0, VCI=35, ルータモード(PPPoE)接続

ADSLサービス設定を有効にする為には、OKボタンを押した後に保存と再起動が必要です。又、保存と再起動を実行するまでは、このWebページの内容は変更前のADSLサービス設定を表示しています。

ルータモード(PPPoE)接続設定

PPPoEログインパラメータ

カプセル化方式 LLC

ログイン ユーザID abc123@isp.ne.jp

ログイン パスワード ●●●●

パスワードの確認(再入力) ●●●●

認証方式設定 CHAP

自動接続 有効

無通信監視時間 0 分

PPPのセッション状態

取得 WAN側IPアドレス 200.1.0.197

対向 IPアドレス(Peer IP) 200.1.0.1

接続状態 接続中



POINT

「接続中」と表示されないときは、ADSL モデムに同梱されているガイドをご確認のうえ、設定内容に誤りがないか確認してください。

2.ブロードバンドルータを使ってインターネットに接続する

ADSL モデムをブリッジモードに変更する

「ルータ/ブリッジモード設定」で以下のように操作します。WEB 設定画面のログイン方法は、「1.パソコンとADSL モデムを使ってインターネットへ接続する」を参照してください。

ルータ/ブリッジ モード設定

ADSL サービス選択 (1)
2 ISP2, VPI=0, VCI=35, ブリッジモード接続

ADSL サービス設定を有効にする場合は、OKボタンを押した後に保存と再起動が必要です。又、保存と再起動を実行するまでは、このWebページの内容は変更前のADSLサービス設定を表示しています。

ルータモード(PPPoE)接続設定

PPPoEログインパラメータ

カプセル化方式 LLC

ログイン ユーザID

ログイン パスワード

パスワードの確認(再入力)

認証方式設定 CHAP

自動接続 有効

無通信監視時間 0 分

PPPのセッション状態

取得 WAN側IPアドレス 0.0.0.0

対向 IPアドレス(Peer IP) 0.0.0.0

接続状態 ユーザID/パスワード未設定

OK (2) 接続 切断

表示されている IP アドレスは 1 例です。

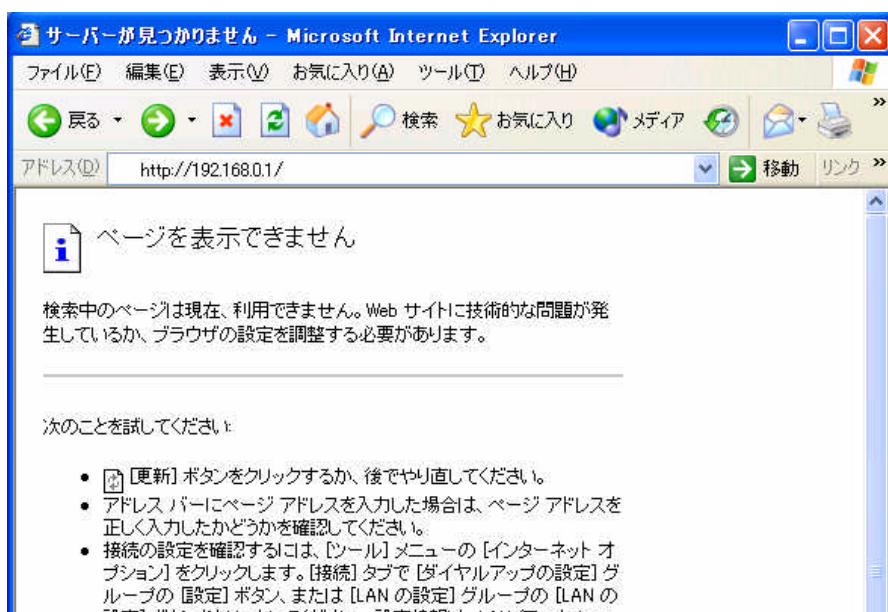
- (1) 「ADSL サービス選択」 「2 ISP2, VPI=0, VCI=35, ブリッジモード接続」を選択します。
- (2) 「OK」ボタンをクリックします。

確認の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



ADSL モデムが再起動し、「再起動後のログイン画面が表示されるまでしばらくお待ちください・・・。」と表示されます。

再起動が終了すると、自動的にログイン画面に戻ります。ここで、ADSL モデムの WEB 管理画面にログインしようとするとき「ページを表示できません」と表示されますが、ADSL モデムの PPP ランプが消灯していた場合、正常に設定が反映されていますので、そのまま次の設定に進んでください。



POINT

ブリッジモードの ADSL モデムへのログインについて

ADSL モデムをブリッジモードにした場合、DHCP サーバー機能が自動的に無効になるため、ADSL モデムから IP アドレスが割り当てられません。ブリッジモードの ADSL モデムにログインするには、ADSL モデムのブリッジ設定マニュアル 5、「IP アドレスの手動設定<<OS 別>>」を参照してください。

ブリッジモードからルータモードへの変更について

ADSL モデムのブリッジ設定マニュアル 6、「<<付録>> ルータモードへの変更方法」を参照してください。

ADSL モデムのブリッジ設定マニュアルは、下記ホームページからダウンロードできます。該当の ADSL モデムのマニュアルをダウンロードしてください。

http://www.acca.ne.jp/support/user_support/bridge/bridge_manual.html

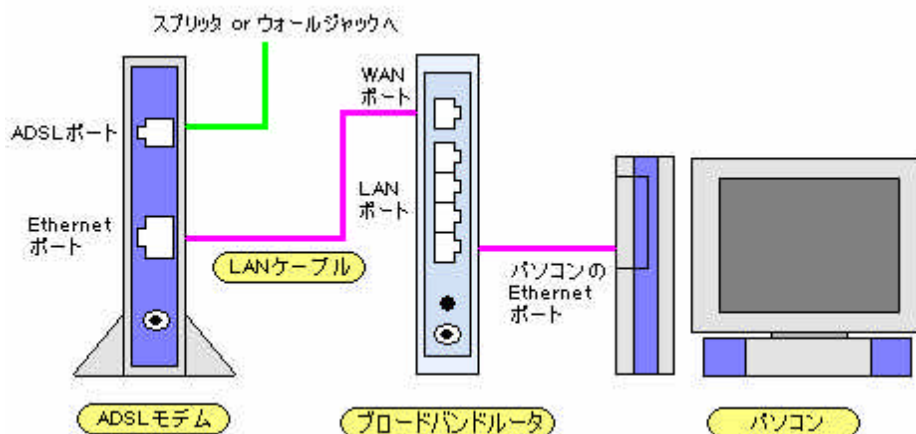
本装置とADSL モデムを接続する

ADSL モデム、本装置、お使いのパソコンの電源をOFF にします。

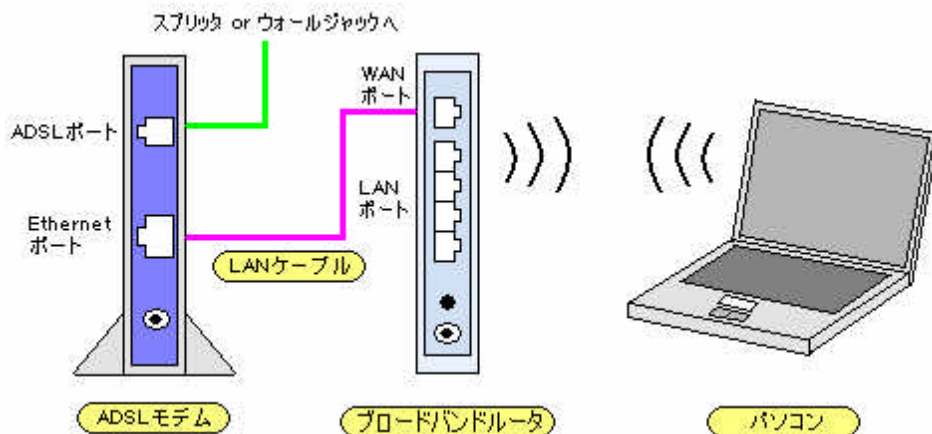
本装置の WAN ポートと ADSL モデムの Ethernet ポートを本装置に添付の LAN ケーブルで接続します。

パソコンを本装置に接続します。

- (1) 有線 LAN で本装置に接続するときは、LAN ケーブルの一方をパソコンの Ethernet ポートに、もう一方を本装置の LAN ポートに接続します。



- (2) ワイヤレス LAN で本装置に接続するときは、本装置から見通し距離約 25m 以内に設置します。ワイヤレス LAN での接続に関しては、『取扱説明書』を参照してください。



ADSL モデム、本装置、パソコンの順に電源をON にします。

本装置を設定する

Web ブラウザを起動し、アドレスバーに「http://192.168.2.1」を入力し、【Enter】キーを押します。



POINT

IP アドレスを変更した場合

本装置の IP アドレスを変更した場合は、変更後の IP アドレスを入力してください。

対応 WEB ブラウザについて

本装置の設定には、下記 WEB ブラウザをご使用ください。

Internet Explorer 5.0 以降 (バージョン 5.00.3315.xxxx を除く)、Netscape 6.2

「ユーザー名」には何も入力せずに、「パスワード」に半角で「admin」と入力して「OK」をクリックします。



POINT

ユーザー名/パスワードを変更した場合

本装置のユーザー名/パスワードを変更した場合は、変更後のユーザー名/パスワードを入力してください。

「ステータス一覧」で、「ファームウェアバージョン」が「2.00.00」となっていることを確認します。バージョンが異なる場合は、最新のファームウェアをダウンロードした後、アップデートしてください。

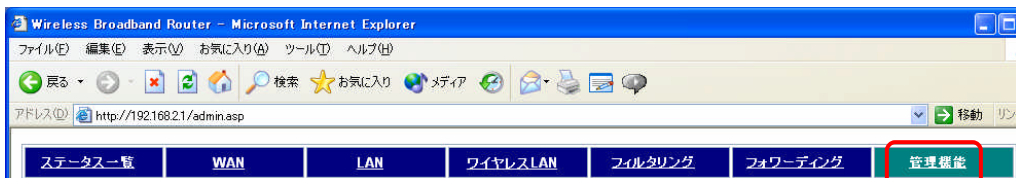


重要

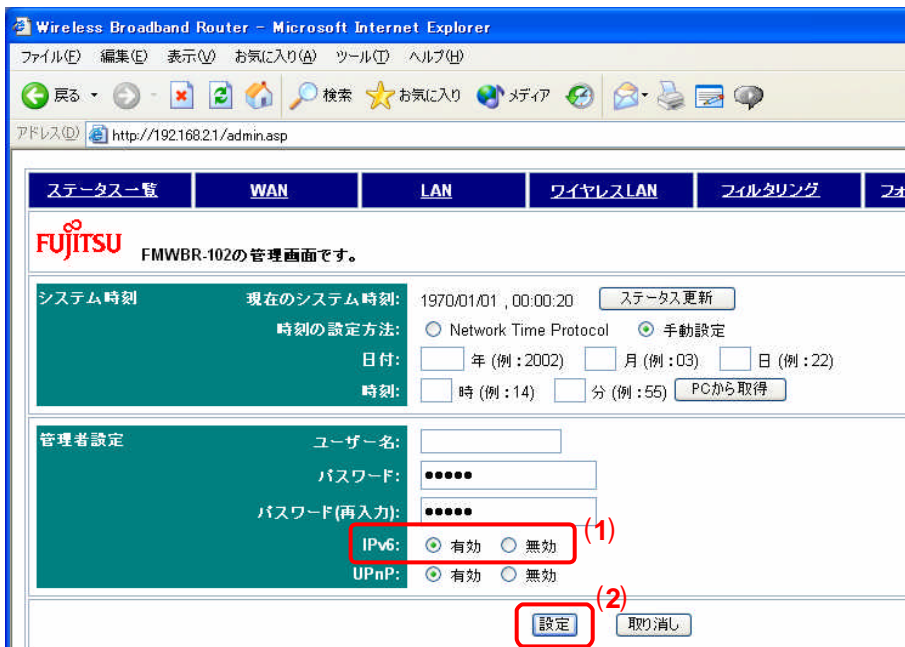
ファームウェアのアップデートを行なった場合は、必ず本装置を工場出荷時の設定に戻してください。

工場出荷時の設定に戻す方法は、『取扱説明書』の「第7章 こんなときは」の「システムのメンテナンス」の「本装置の設定内容をご購入時の状態に戻す」を参照してください。

トップメニューの「管理機能」をクリックします。



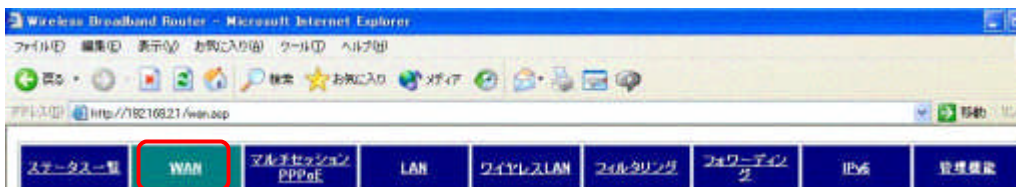
次のように操作します。



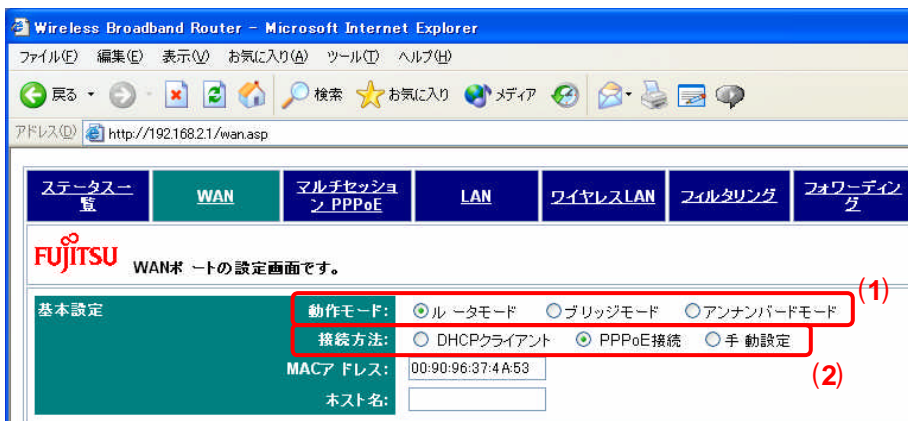
(1) 『IPv6 :』 「有効」をクリックして にします。

(2) 「設定」ボタンをクリックします。

トップメニューの「WAN」をクリックします。

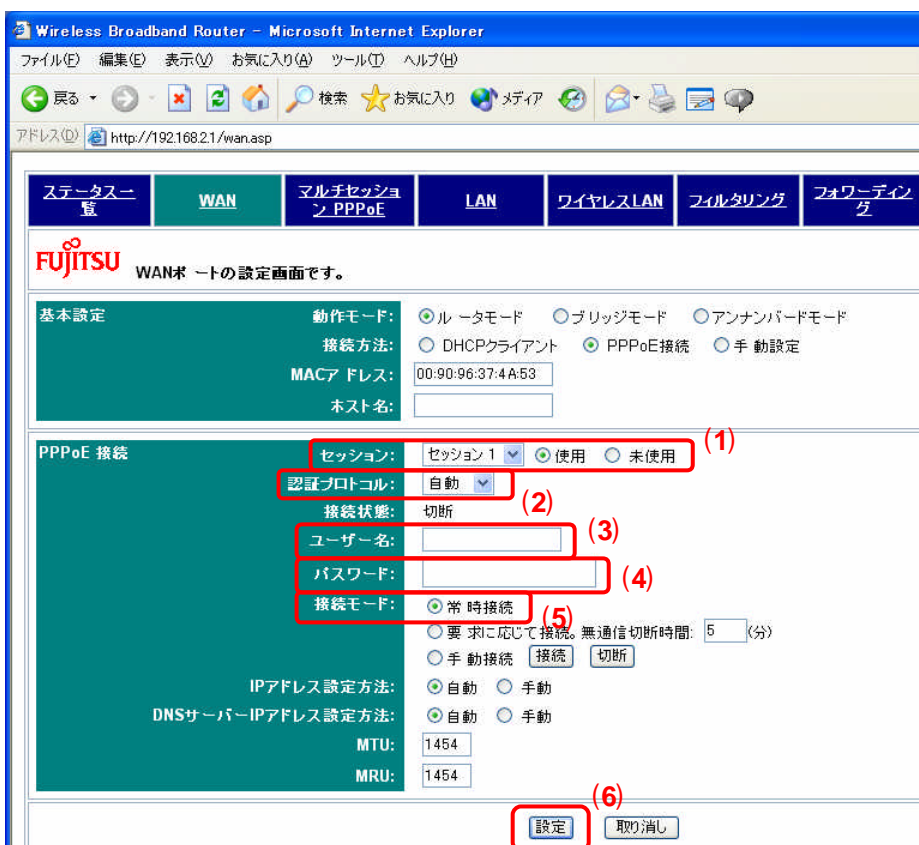


次のように操作します。



- (1) 動作モード:] 「ルータモード」が になっていることを確認します。
- (2) 接続方法:] 「PPPoE 接続」をクリックして にします。

PPPoE 接続用の設定項目が表示されたら、次のように操作します。



- (1) セッション:] セッション1のみ「使用」をクリックして にします。
- (2) 認証プロトコル:] 「自動」を選択します。
- (3) ユーザー名:] プロバイダから指定されたユーザー名を入力します。
- (4) パスワード:] プロバイダから指定されたパスワードを入力します。
- (5) 接続モード:] 「常時接続」を選択します。
- (6) 設定] ボタンをクリックします。「設定を保存しています。」という画面が終了すると、自動的にプロバイダに接続します。

POINT

セッションについて

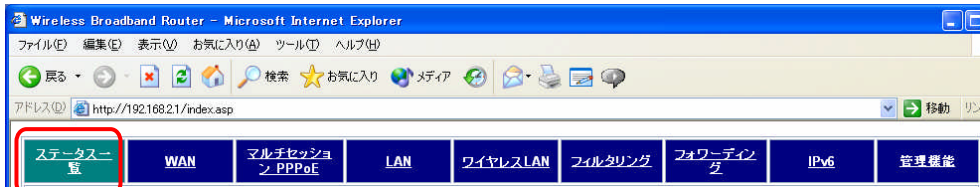
IPv6/IPv4 デュアルサービスを利用する場合、マルチセッション PPPoE 接続はご使用になれません。
必ず、セッション1のみ「使用」に設定し、セッション1以外は「未使用」に設定してください。

接続モードについて

接続モードを「手動接続」にした場合、接続するには「接続」ボタンをクリックします。

3. インターネットへの接続を確認する

接続後、プロバイダからIPv4 アドレスとIPv6 プレフィックスが取得されていることを確認します。
トップメニューの「ステータス一覧」をクリックします。



PPPoE 接続状態の「セッション1」が「接続」、IPv4 アドレスが表示されていることを確認します。

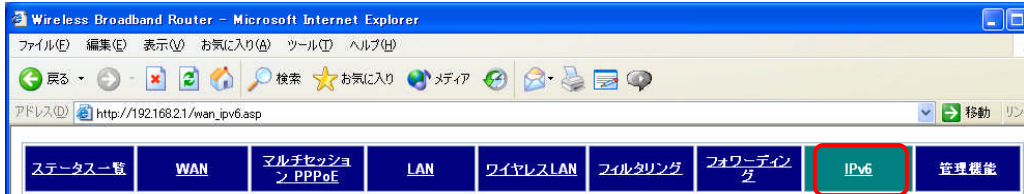


POINT

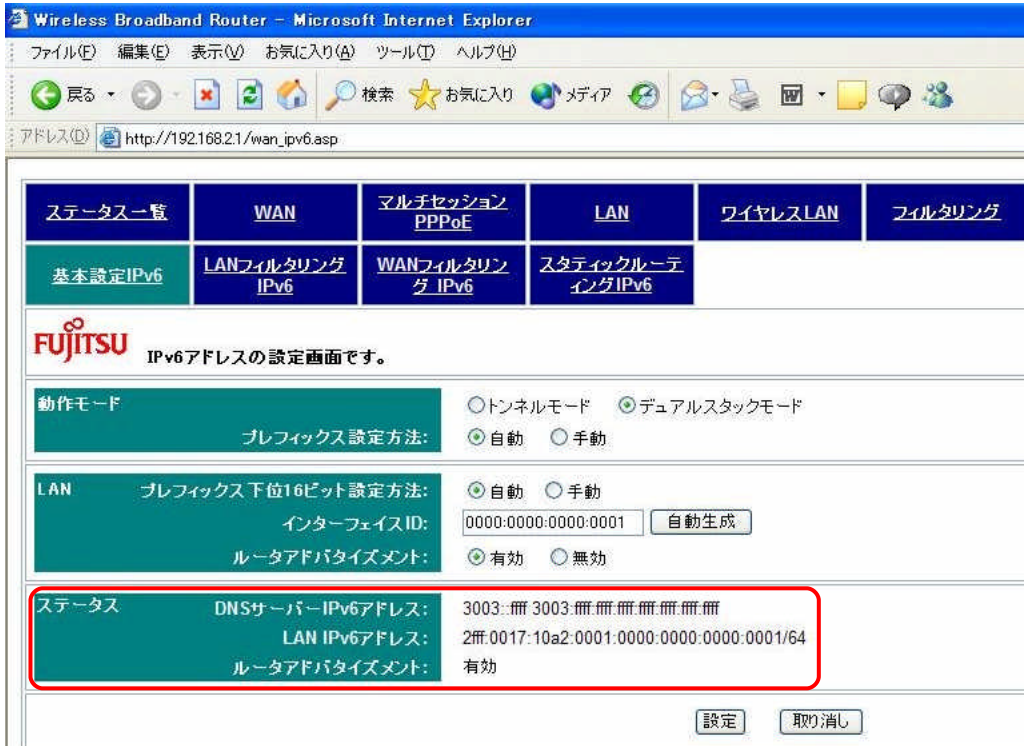
PPPoE 接続状態が「接続」にならない場合

「接続中」と表示されないときは、ADSL モデムに同梱されているガイドをご確認のうえ、設定内容に誤りがないか確認してください。

トップメニューの「IPv6」をクリックします。



基本設定「IPv6」画面で、「ステータス」に「LAN IPv6 アドレス」と「DNS サーバー IPv6 アドレス」が表示されていることを確認します。



POINT

IPv6 アドレスが表示されない場合

「IPv6 アドレス」が表示されるまで時間がかかる場合があります。しばらくしてから、WEB ブラウザの「更新」ボタンをクリックしてください。それでも表示されない場合は、プロバイダ発行の接続用認証 ID と接続用認証パスワードをご確認のうえ、設定内容に誤りがないか確認してください。

WEB ブラウザで <http://www.fmworld.net/> にアクセスし、IPv4 でインターネットに接続できることを確認します。FMWORLD のホームページが表示されたら、IPv4 で接続完了です。



WEB ブラウザで <http://www.v6pc.jp/jp/index.html> にアクセスし、IPv6 でインターネットに接続できることを確認します。IPv6 普及・高度化推進協議会のホームページが表示され、トップページのタイトル下に「You are now using IPv6」と表示されていれば、IPv6 で接続完了です。

